



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 隆太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月6日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	17,014	4.1	346	161.6	404	112.7	235	103.1
2024年3月期中間期	16,343	0.0	132	△61.1	190	△52.0	115	△58.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 216百万円 (97.4%) 2024年3月期中間期 109百万円 (△59.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	161.90	—
2024年3月期中間期	79.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	27,455	14,739	53.2
2024年3月期	27,780	14,668	52.3

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 14,606百万円 2024年3月期 14,521百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
2025年3月期	—	60.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	2.3	1,600	△13.2	1,700	△13.0	1,100	△18.0	757.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名)、 除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	1,645,360株	2024年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	193,017株	2024年3月期	193,017株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	1,452,343株	2024年3月期中間期	1,452,403株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、急激な物価上昇は落ち着きを見せているものの、不安定な国際情勢や諸外国の金融政策に伴う為替の変動等により消費マインドの動向を注視する必要があり、今後の国内経済の見通しは不透明な状況が続いております。

そのようななか、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収増益、ブライダル事業は増収減益となり、建設不動産事業は減収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。売上高につきましてはセグメント情報等の外部顧客への売上高を基準としております。

#### (カー用品事業)

商品売上において、タイヤ販売のほかオイル・バッテリーが堅調に推移しました。また、収益性の高いピットサービス部門もタイヤ交換工賃を軸に順調に推移し、車の出張買取等の施策を強化した車両販売は、堅調な需要と安定した相場により前年および計画を上回る推移をした結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

#### (ブライダル事業)

列席者数の増加に伴う婚礼単価の上昇と、婚礼施設を活用した法人宴会等の飲食売上の増加により、前年同期と比べ増収となりました。利益面においては、集客費用の増加と採用強化に伴う人件費の増加により、前年同期と比べ減益となりました。

#### (建設不動産事業)

保有する不動産物件の戦略的な売却と収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めましたが、建築工事売上において前期を下回った為、前年同期と比べ減収となりました。利益面においては、利益率の高い賃貸売上の増加により、前年同期と比べ増益となりました。

#### (その他の事業)

2024年3月期第4四半期会計期間において、コメダ事業を譲渡したことから売上高は減少いたしました。利益面においては、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、前年同期と比べ減収増益となりました。

#### (総括)

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は17,014百万円(前年同期比4.1%増)となり、営業利益につきましては346百万円(前年同期比161.6%増)、経常利益につきましては404百万円(前年同期比112.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては235百万円(前年同期比103.1%増)となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び、純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は27,455百万円となり、前連結会計年度末と比べ325百万円減少しました。

#### a. 流動資産

流動資産残高は、11,072百万円(前連結会計年度末比237百万円減)となりました。主な減少要因は売掛金の減少(221百万円減)であります。

#### b. 固定資産

固定資産残高は、16,383百万円(前連結会計年度末比87百万円減)となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少(57百万円減)であります。

#### c. 流動負債

流動負債残高は、8,247百万円(前連結会計年度末比184百万円減)となりました。主な減少要因は、未払法人税等の減少(208百万円減)であります。

#### d. 固定負債

固定負債残高は、4,468百万円(前連結会計年度末比211百万円減)となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少(253百万円減)であります。

#### e. 純資産

純資産残高は、14,739百万円(前連結会計年度末比70百万円増)となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加(89百万円増)であります。

自己資本比率は、53.2%となり前連結会計年度末比0.9ポイントの増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は1,299百万円となり、前連結会計年度末と比べ113百万円減少しました。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前中間純利益の計上(397百万円)などにより、725百万円の収入(前年同期は631百万円の収入)となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出(294百万円)などにより、305百万円の支出(前年同期は509百万円の支出)となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、長期借入金の返済による支出(399百万円)などにより、533百万円の支出(前年同期は275百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日の発表から変更しておりません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,413,649	1,299,776
売掛金	1,779,045	1,557,721
棚卸資産	7,413,775	7,364,118
その他	703,826	850,619
貸倒引当金	△501	—
流動資産合計	11,309,795	11,072,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,346,440	4,288,957
土地	6,909,198	6,909,198
リース資産(純額)	50,608	52,491
建設仮勘定	—	3,300
その他(純額)	502,162	517,727
有形固定資産合計	11,808,410	11,771,675
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	142,180	127,777
無形固定資産合計	151,212	136,809
投資その他の資産		
投資有価証券	115,870	107,950
長期貸付金	18,290	17,870
長期前払費用	148,285	153,348
差入保証金	2,607,914	2,568,898
繰延税金資産	1,549,685	1,554,223
その他	91,611	92,062
貸倒引当金	△20,207	△19,737
投資その他の資産合計	4,511,449	4,474,616
固定資産合計	16,471,072	16,383,102
資産合計	27,780,868	27,455,336

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,937,639	2,062,411
短期借入金	3,228,456	3,102,377
リース債務	16,634	17,902
未払法人税等	443,734	235,319
未払消費税等	238,290	170,527
未成工事受入金	1,500	—
賞与引当金	440,696	485,212
役員賞与引当金	10,200	—
その他	2,115,343	2,174,165
流動負債合計	8,432,495	8,247,917
固定負債		
長期借入金	1,954,045	1,700,926
リース債務	36,015	36,767
繰延税金負債	9,951	9,951
役員退職慰労引当金	486,614	507,788
退職給付に係る負債	593,486	608,726
資産除去債務	1,004,647	1,009,974
長期預り保証金	595,180	594,008
固定負債合計	4,679,941	4,468,144
負債合計	13,112,436	12,716,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	12,044,690	12,134,587
自己株式	△667,108	△667,108
株主資本合計	14,516,472	14,606,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,273	20,685
退職給付に係る調整累計額	△21,732	△20,169
その他の包括利益累計額合計	4,540	515
非支配株主持分	147,418	132,390
純資産合計	14,668,431	14,739,275
負債純資産合計	27,780,868	27,455,336

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	16,343,389	17,014,250
売上原価	9,021,968	8,927,713
売上総利益	7,321,421	8,086,537
販売費及び一般管理費	7,188,848	7,739,768
営業利益	132,572	346,768
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,047	7,299
受取手数料	51,363	49,802
その他	20,562	19,364
営業外収益合計	78,973	76,466
営業外費用		
支払利息	13,834	14,530
その他	7,330	3,848
営業外費用合計	21,164	18,378
経常利益	190,381	404,856
特別利益		
固定資産売却益	306	136
受取保険差益	—	3,254
特別利益合計	306	3,391
特別損失		
固定資産除却損	278	360
訴訟関連損失	—	9,349
その他	—	863
特別損失合計	278	10,572
税金等調整前中間純利益	190,408	397,675
法人税等	88,718	177,572
中間純利益	101,690	220,103
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△14,061	△15,028
親会社株主に帰属する中間純利益	115,751	235,131

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	101,690	220,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,205	△5,587
退職給付に係る調整額	1,562	1,562
その他の包括利益合計	7,768	△4,024
中間包括利益	109,459	216,078
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	123,520	231,106
非支配株主に係る中間包括利益	△14,061	△15,028

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	190,408	397,675
減価償却費	372,969	369,220
受取保険差益	—	△3,254
訴訟関連損失	—	9,349
引当金の増減額(△は減少)	51,157	72,010
受取利息及び受取配当金	△7,047	△7,299
支払利息	13,834	14,530
固定資産売却損益(△は益)	△306	△136
固定資産除却損	278	360
売上債権の増減額(△は増加)	133,468	221,324
棚卸資産の増減額(△は増加)	△311,621	49,656
仕入債務の増減額(△は減少)	△104,904	124,771
その他	207,428	△133,420
小計	545,665	1,114,788
利息及び配当金の受取額	2,004	2,848
利息の支払額	△13,694	△15,042
助成金の受取額	—	27,333
保険金の受取額	—	20,003
法人税等の支払額	△140,705	△433,183
法人税等の還付額	238,059	8,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,329	725,211
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△438,423	△294,546
有形固定資産の売却による収入	306	2,303
無形固定資産の取得による支出	△59,246	△5,047
投資有価証券の取得による支出	△94	△129
貸付金の回収による収入	300	420
長期前払費用の取得による支出	△16,606	△20,067
差入保証金の差入による支出	△132	△129
差入保証金の回収による収入	4,569	11,737
その他	△563	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△509,890	△305,410
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△374,865	△399,198
配当金の支払額	△86,886	△145,014
その他	△13,333	△9,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,084	△533,674
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△153,645	△113,873
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,577	1,413,649
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,745,931	1,299,776

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
商品	4,068,840千円	3,675,538千円
販売用不動産	3,253,764	3,591,394
未成工事支出金	66	851
原材料及び貯蔵品	91,104	96,334

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費の主なもの

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
従業員給与	2,015,646千円	1,994,650千円
賞与引当金繰入額	425,179	458,694
役員退職慰労引当金繰入額	24,399	21,174
退職給付費用	30,166	28,152
賃借料	1,099,247	1,082,538

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金	1,745,931千円	1,299,776千円
預入期間が3か月超の定期預金	—	—
現金及び現金同等物	1,745,931	1,299,776

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダ ル事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,865,818	1,812,635	490,937	16,169,391	173,997	16,343,389	—	16,343,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,260	1,441	257,088	259,790	698,566	958,356	△958,356	—
計	13,867,078	1,814,077	748,025	16,429,181	872,564	17,301,746	△958,356	16,343,389
セグメント利益又は損 失(△)	191,351	△110,159	△6,621	74,570	63,964	138,534	△5,961	132,572

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,700,179	1,841,323	466,452	17,007,955	6,295	17,014,250	—	17,014,250
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,728	1,413	211,273	215,414	708,030	923,444	△923,444	—
計	14,702,907	1,842,736	677,725	17,223,369	714,325	17,937,695	△923,444	17,014,250
セグメント利益又は損 失(△)	370,950	△128,993	33,748	275,704	75,211	350,915	△4,147	346,768

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。